

大学教授 久保田電子 56

(カナタ在住)

## おもてなし英語だけ？

ソチ五輪の視察から戻った舩添  
東京都知事が、定例会見で「ロシ  
ア語しか通じなくて困った。ワ  
ン、ツー、スリーぐらいは言える  
はずだ。日本でも日本語以外だめ

というのは困るので、英会話教室  
みたいなことをやってポランティ  
アの通訳をやるといい。また、オ  
リンピックの第一言語がフランス  
語なので、一部はフランス語のポ  
ランティアをやってもらえばい  
い」という発言をした。

ソチではロシア語しか通じなか  
ったので、東京五輪では英語通訳

## ミラー

を完備する必要があるという論理  
は、グローバル人材育成のために  
英語教育を推進しようというスロ  
ーガンに照らし、当然と思えるか  
もしれない。

しかし、よく考えてみると結論  
は逆で、ロシア人の多くは英語も  
フランス語もできない、だから東  
京五輪ではロシア語の通訳ポラン  
ティアが必要だ、となるべきでは  
ないか。

百歩譲って、東京を訪れるロシ  
ア人は片言でも英語ができると仮  
定しよう。しかし、それらのロシ

ア人はおそらく経済的余裕があ  
り、ある程度の英語教育も受けて  
きた人々だろう。五輪での英語教  
育重点化からは、世界の非英語話  
者の存在だけでなく、いわゆるイ  
ングリッシュ・ディバイド＝英語  
格差、さらに教育格差の認識も抜  
け落ちていようだ。

五輪準備では通訳配備もさるこ  
とながら、教育面でも英語一辺倒  
に陥ることなく、五輪を多様性学  
習の機会としてとらえるべきであ  
る。

東京五輪が、世界の多言語話者  
をなおざりにするような祭典にな  
ってはならない。